

平成 24 年度 各活動団体ぎふサミット

「子どもたちの心を大切に 子どもたちの未来を大切に」  
～夫婦の関係が変わっても親子の関係は変わりません。親子の絆を大切に。～

平成 24 年 12 月 29 日 岐阜駅北口広場・グランパレホテル水仙の間

参加申し込み

facebook ページで参加を表明していただくか、直接大西までご連絡ください。

090-1478-5022

メール・メッセージ・電話などどんな方法でもかまいません。

参加費（会場費分担金）1,000円。

（29日ということでリーズナブルな公共施設が借りられませんでした）

学生は参加費無料！

懇親会やります！！30日岐阜市内観光用意してあります！たぶんめっちゃいいです！  
憩いと癒しで、こころ豊かに、ゆとりをもって生きられるように♪

28日、29日に宿泊希望される方は大西に連絡ください。いづらか押さえていただいています。

090-1478-5022 大西携帯

その他 facebook メッセージなどご利用ください。

「子どもたちの心を大切に 子どもたちの未来を大切に」  
～夫婦の関係が変わっても親子の関係は変わりません。親子の絆を大切に。～

平成 24 年 12 月 29 日 岐阜駅北口広場・グランパレホテル水仙の間

共催 親子ネット・親子ネット関西・PCA・LBP

子どもと離れて暮らす母のつどい

黄緑リボンプロジェクト・NPO びじっと

我が子に会いたい親の会

チルドレンファースト・中部共同親権法制化の会

親子交流を考える岐阜の会

事務局 true love 子どもたちの未来を大切に

後援 岐阜市・岐阜市教育委員会

総会・シンポジウム・グループセッション（9：30～12：00 グランパレホテル 水仙の間）

基調講演：「離婚訴訟・継続性の原則に勝った！その秘訣」

離婚訴訟・継続性の原則に勝った！！ある素敵な調査会社と弁護士勝利の秘訣！！

加藤なぎさ 調査会社 株式会社 I・WIN

パネルディスカッション「子どもたちの未来を大切に」

パネラー

田畑早苗 シングルマザー

二児の母。子どものために自由に父親と子どもたちが会えるようにしている。

元夫とその再婚相手と、自分と子どもたちとといった会食もしている。

山口ちえみ 独身女性

友人に離婚後子どもと会えない男性が複数いて、いろいろ考える昨今。

加藤なぎさ 調査会社 株式会社 I・WIN

宗像 充 k ネット代表

コーディネーター 大西 隆博

グループセッション

「子どもたちのためにどうあるといいのか。大人たち。そして国。」

来ていただいた方々の英知を結集・みんなの力で！日本を変える！

しめくくりの講話 井上博士

啓発活動イベント（岐阜駅北口広場・及び名鉄岐阜駅前スクランブル交差点）

それぞれの団体の啓発活動を岐阜で

<主題：わたしたちの命題>

子どもたちは、わたしたちの宝物であり、社会の宝物、世界の宝物、地球の宝物であり、そしてかつては愛

したことのある元配偶者にとっても宝物です。

子どもにとって父親も母親もどちらも大切なかけがえのないたった一人の父親であり母親です。

子どもたちにとって、たとえどんなことがあっても、たった一人の父親、たった一人の母親と、良好な関係を保ち、会いたい時に会え、適切な養育、文化や哲学の伝授を受けることが大切です。

わたしたちは、親として、そのことを実現しなければなりません。それが親としての義務です。

だから、たとえいろいろ行き違いや価値観の相違があつたとしても、そしてその夫婦の関係が終わつたとしても、人間として、大切な子どもの父として、母として、元配偶者と子どもの良好な関係の構築に協力しなければなりません。大切にしなければなりません。

しかしそれを阻害する物事仕組みが多すぎるのが現実です。法律・制度・利権構造。司法界の腐敗。

例えば、欧米では犯罪の連れ去りが日本では有利に働くとか、ざる法DV法が刑法化されていないので捏造OK真のDVもごまかせるとか、連れ去り100%有利だから連れ去ってしまう子どもを人質のように金員服従を要求できるとか、その圧倒的な不公平が人間を悪魔化させてしまう。

そこで悪魔化してしまった配偶者。そこで夫婦が戦うように仕向けるのは、それは弁護士はじめ司法界利権団体の策略、訴訟争いを量産させたいだけ。

わたしたちが戦うべき相手や事柄は、それら、司法界の腐敗、法律・制度を変えること、利権構造を暴き解体することです。

配偶者やその一族は、その洗脳状態から解除して救出することが大切です。

わたしたちは、親として、良識のある寛容な親として、子どもたちを守るために、配偶者元配偶者の洗脳状態からの救出、そのために司法界の腐敗、法や制度の不備の改善、利権構造の解明と解体をめざします。

子どもたちを大切に  
子どもたちの未来を大切にするための  
各活動団体ぎふサミット宣言

1. わたしたちは親として子どもたちの心、子どもたちの未来を最優先に最大限に大切にします。

2. わたしたちは、子どもたちにとってたった一人の父親として、母親として、たとえ夫婦の関係が変わっても、配偶者、元配偶者が子どもたちにとってはたった一人の母親であり父親であることを十分に理解し、子どもたちと両親との良好な関係維持構築を大切に大切にします。

3. わたしたちは、子どもたちが子どもたちにとって、かけがえのないたった一人の父親、母親と、いかなる状況のもとでも、良好な関係を保ち、会いたい時に会え、適切な養育を受け、文化や哲学の伝授を得られるように、英知を結集し最善を尽くします。

4. そのために、わたしたちはいかなる場合も、どんな過酷な状況に立たされても、良識を持って寛容に、感情に振り回されず、子どもの幸せを実現する道を模索します。

5. わたしたちが戦うとすれば、それは、和する心を忘れただけの、何かに固執した洗脳状態にある配偶者、元配偶者ではなく、彼らをそうさせている、司法界の腐敗、法や制度の不備、利権構造であって、そこに、みな  
の英知を結集し、全力で戦いますが、負の連鎖に組み込まれてしまっている、かつて愛したことのある配偶者、元配偶者は、その洗脳状態何かに固執した状況から解放されるよう、救出のために力を合わせ知恵を合わせ時間をかけて取り組みます。

#### 具体的な活動目標

<中長期的目標（できるだけ早く実現）：法律や制度の改革>

子どもたちに父母共同被養育権を認める法律を制定する。（それは共同親権共同養育につながる）

DV防止法を刑法化する。

ハーグ条約早期批准。

訴訟を増やすための裁判や調停においての圧倒的な不公平な仕組みを変える。

<短期的目標：判例を変える>

本当に子どもの心を最優先に考える判例を出させる。（離婚訴訟フォーマットにのらない）

「継続性の原則」ではなく「寛容性の原則」で親権監護権を決定させる。

最初の連れ去りが子どもの心を大きく傷つける虐待であることを社会が認識するようにする。

最初の連れ去りが配偶者に対する殺人的な精神的虐待であることを社会が認識するようにする。